

## きょうだい関係と性格

### — 2. 自己評定による検討 —

#### A Study on the Sibling Relations and Personality

#### — 2. Investigation by Self-Rating —

白 佐 俊 憲

Toshinori SHIRASA

### I は じ め に

この報告は、「きょうだい関係と性格」というテーマのもとに、「きょうだい関係（出生位置・出生順位など）の影響は発達段階のどの段階まで継続するか」を調べている研究の第2報である。

わが国で発表された「きょうだい関係と性格」に関する文献（著書・論文・学会発表）の主要なものは第1報の末尾に示したが、他にもこの報告の末尾にあげるようなものがあり、これまでに実証的な研究が数多くなされている。

畑田<sup>9)</sup>・依田<sup>16)</sup>・下山<sup>17)</sup>らが著書で成人について言及しているように、一般的に、成人期に達してもきょうだい関係の影響と言える性格・行動傾向を示す、と判断されている。この見方に従えば、幼少期で認められたきょうだい関係と性格特徴との関連が成人になっても残存するのであるから、その関連は、成人に至るまでの発達段階のどの時期でも何らかの形で認められるはずである。そして、その関連性は、様々な方法によってとらえられるであろうが、心理学的な検査・調査の結果にも何らかの差異となって表れると考えられる。

この仮説を実証するために、第1報では、YG検査を実施し、その結果を報告した。第2報の本報告は、第1報と同様に発達段階の上で青年後期に達した者を対象とし、これらの者に別な角度からの調査を実施し、きょうだい関係の違いによって青年の性格に差異が見られるかどうか、また、見られるとすれば、どのような差異が見られるかを検討するものである。

すなわち、この研究の目的は、きょうだい関係の違いによって青年の性格は異なるであろうという予想のもとに、出生位置などと青年の性格とは何らかの関連があるという仮説を立て、これを実証しようとしているのである。

今回は、自己評定法を用いて、性格・行動を記述する言葉を調査対象者に呈示し、自分に該当するものをあげてもらい、この回答をきょうだい関係別に分析する方法を採用した。

なお、きょうだい関係は、よく試みられる出生位置（出生順位）による分類のほか、きょうだい数による分類、性別構成による分類も可能なので、本研究では、探索的な検討を多方面から行う意味で可能な分類をすべて採用した。

## Ⅱ 方 法

### 1. 調査の実施方法

#### (1) 調査項目と回答方法

自己評定法で採用した性格・行動を記述する言葉は、多義性・不明確性を避けるために表現を単純化した。各種の性格・行動調査で使用された項目を比較・検討し、最終的に表1に示す94項目を採用した。

性格・行動を記述した短文を、回答用紙への記入指示文(表1)とともに用紙に印刷・呈示し、自己評定(内省・内観)を求めた。記名法とし、きょうだい関係などの基本事項と自己評定の結果とを記入する用紙(省略)を用意し、該当する項目の番号に○印を付ける方式で回答してもらった。なお、きょうだい関係の記入に当たっては、1歳未満で死別・離別した者は含めないように指示した。

#### (2) 実施時期と調査対象

調査は、交差妥当性(普遍妥当性・一貫性)を検討するために、類似条件で時期・対象者を変えて、1992年・1993年の2回実施した。2回とも、実施時期は4月である。

検査の対象者は、女子の短大生とした。対象学生は、1992年4月・1993年4月に北海道女子短大に入学した1年目学生(90%以上が18歳)である。有効数は、1992年実施分が1051、1993年実施分が1065であった。

### 2. 結果の処理

#### (1) 分析方法

結果は、きょうだい関係別・項目別に該当者数を集計し、該当状況がきょうだい関係によって異なるかどうかを検討した。統計的な有意性は $\chi^2$ 検定で確認した。なお、紙面の制約で、検定結果は、自由度及び $\chi^2$ 値は省略し、有意水準だけを示す。

#### (2) きょうだい関係の分類

基本となる「きょうだい関係」の分類は、分析・検討を多面的に行うために、次のものを採用し、それぞれの分類による検討のほか、二つの分類の組み合わせによる検討も実施した。

- ① 出生位置による分類……長子、中間子、末っ子、一人っ子。一般的には、「出生順位による分類」とされるものであるが、本研究では③と区別するために、この名称にした。
- ② きょうだい数による分類……一人っ子、二人っ子、三人っ子、四人っ子、……。
- ③ 出生順位による分類……第1子、第2子、第3子、第4子、……。
- ④ 性別構成による分類……男子のみ、男女混在、女子のみ。

## Ⅲ 結果及び考察

### 1. 出生位置別検討

第1の検討は、出生位置別分類によって実施した。きょうだい関係の分類の中で、最も一般

表1 性格・行動自己評定調査用紙

次の1～94の性格・行動を表す言葉の中から、普段の自分に当てはまるものを選び、回答用紙の番号に○印を記入して下さい。(だいたい当てはまるもの場合も○を記入して下さい)

- |                |                              |                           |
|----------------|------------------------------|---------------------------|
| 1. 意志が強い       | 33. 規則正しく生活する                | 65. ちゃっかりしている             |
| 2. 協調性に富む      | 34. 自制的である                   | 66. 真面目である                |
| 3. 明朗である       | 35. 几帳面である                   | 67. お調子者である               |
| 4. ユーモアがある     | 36. 控 <sup>ひか</sup> え目である    | 68. やさしい                  |
| 5. 誰とでも気軽に付き合う | 37. 素直である                    | 69. 気前がよい                 |
| 6. 勤勉である       | 38. 開放的である                   | 70. がむしゃらである              |
| 7. 向上心がある      | 39. 楽天的である                   | 71. 支配的である                |
| 8. 自主性がある      | 40. 独立心が強い                   | 72. 口がうまい                 |
| 9. 上品である       | 41. おしゃれである                  | 73. おてんばである               |
| 10. 親切である      | 42. おっとりしている                 | 74. 頑 <sup>がんこ</sup> 固である |
| 11. 慎重である      | 43. 甘ったれである                  | 75. 見栄っ張りである              |
| 12. 誠実である      | 44. マイペースである                 | 76. ずうずうしい                |
| 13. 思いやりがある    | 45. 丁寧 <sup>ていねい</sup> である   | 77. 疑い深い                  |
| 14. 責任感が強い     | 46. おしゃべりである                 | 78. 注意散漫である               |
| 15. 積極的である     | 47. 威張 <sup>いば</sup> りたがる    | 79. 粗野である                 |
| 16. 善良である      | 48. 感傷的である                   | 80. 怒りっぽい                 |
| 17. 独創的である     | 49. 気が変わりやすい                 | 81. 自分本位である               |
| 18. 忍耐強い       | 50. 子供っぽい                    | 82. 嫉妬 <sup>しつと</sup> 深い  |
| 19. 包容力がある     | 51. 純情である                    | 83. 無作法である                |
| 20. 理性的である     | 52. 神経質である                   | 84. 投げやりである               |
| 21. 進歩的である     | 53. 世話好きである                  | 85. 気むずかしい                |
| 22. 指導力がある     | 54. のんきである                   | 86. 不平不満が多い               |
| 23. 活動的である     | 55. 正直である                    | 87. 勝ち気である                |
| 24. 決断力がある     | 56. 繊細 <sup>せんさい</sup> である   | 88. 物事にこだわらない             |
| 25. 落ち着きがある    | 57. 融通 <sup>ゆうつう</sup> がきかない | 89. 衝動的である                |
| 26. 温和である      | 58. 要領がよい                    | 90. したかぶりをする              |
| 27. 思慮深い       | 59. がっちりしている                 | 91. スポーツで活躍している           |
| 28. 判断力・理解力がある | 60. 冒険好きである                  | 92. 空想にふけることが多い           |
| 29. 勇気がある      | 61. 内気である                    | 93. 着物や持ち物を気にする           |
| 30. 寛容である      | 62. 涙もろい                     | 94. 面倒なことは嫌いである           |
| 31. 物事にけじめをつける | 63. 義理がたい                    |                           |
| 32. 人当たりがよい    | 64. 潔癖 <sup>けつぺき</sup> である   |                           |

的に使用されているのは、出生したときの位置によるもので、次のように①長子、②中間子、③末っ子、④一人っ子の四つに分けるものである。

- ① 長子……上にはきょうだいがいないが、下にはきょうだいがいる者。
- ② 中間子……上にも下にも、きょうだいがいる者。
- ③ 末っ子……上にはきょうだいがいるが、下にはきょうだいがいない者。
- ④ 一人っ子……上にも下にも、きょうだいがいない者。

対象者の出生位置別の構成は、1992年調査では、長子が41.7%、中間子が10.8%、末っ子が38.9%、一人っ子が8.6%であり、1993年調査では、長子が44.6%、中間子が9.6%、末っ子が38.2%、一人っ子が7.6%であり、兩年の構成差はほとんどない。

表2・3は、きょうだいの出生位置によって、各項目の該当状況が異なるかどうかを調べてみたものである。94項目の中で統計的に有意な差が認められたのは、1992年調査(表2)では10項目(10.6%)であり、1993年調査(表3)では15項目(16.0%)ある。出生位置によって性格特徴に差異があるであろうという予想は、少数ではあるが実証されたといえる。しかし、2回とも有意差が認められたのは、3項目(項目番号13・43・54)にすぎない。これらも、兩年の間の結果に、一貫した傾向が認められるとはいいがたい。(今後の他の研究結果との比較を可能にするために、全項目の詳細数値表を一括して付表1・2に示しておく)

表2 出生位置別項目別該当状況—①1992年調査—

単位：人(%)

項目番号	全 体	長 子	中 間 子	末 っ 子	一 人 っ 子	有 意 水 準
	対象 1051人	対象 438人	対象 114人	対象 409人	対象 90人	
13	721 (68.6)	276 (63.0)	85 (74.6)	300 (73.3)	60 (66.7)	1 %
18	602 (57.3)	235 (53.7)	70 (61.4)	252 (61.6)	45 (50.0)	5 %
32	610 (58.0)	271 (61.9)	59 (51.8)	221 (54.0)	59 (65.6)	5 %
33	449 (42.7)	185 (42.2)	44 (38.6)	192 (46.9)	28 (31.1)	5 %
39	701 (66.7)	305 (69.6)	68 (59.6)	260 (63.6)	68 (75.6)	5 %
43	500 (47.6)	174 (39.7)	51 (44.7)	223 (54.5)	52 (57.8)	1 %
54	645 (61.4)	289 (66.0)	65 (57.0)	231 (56.5)	60 (66.7)	5 %
81	281 (26.7)	136 (31.1)	30 (26.3)	89 (21.8)	26 (28.9)	5 %
83	111 (10.6)	56 (12.8)	14 (12.3)	38 (9.3)	3 (3.3)	5 %
89	370 (35.2)	166 (37.9)	51 (44.7)	124 (30.3)	29 (32.2)	5 %

さらに、より厳密な条件で検討するために、二人っ子及び三人っ子のみについて整理してみた。表4・5に示すように、かなりの項目で有意差がみられたのであるが、2回の調査で、二人っ子でも三人っ子でも一致して有意差が認められたのは、わずかに1項目(項目番号43)である。この項目は、末っ子と長子・中間子との比較では、兩年の結果の間に一貫した傾向が認められるといえる。すなわち、末っ子は、長子・中間子に比べると、自分を「甘ったれである」と評定している。この結果は、これまでの諸研究の結果とも、俗に言われている「末っ子の特徴」とも一致するものである。

表3 出生位置別項目別該当状況—②1993年調査—

単位：人(%)

項目番号	全 体	長 子	中 間 子	末 っ 子	一 人 っ 子	有意水準
	対象 1065人	対象 475人	対象 102人	対象 407人	対象 81人	
13	732 (68.7)	320 (67.4)	72 (70.6)	294 (72.2)	46 (56.8)	5 %
42	454 (42.6)	217 (45.7)	28 (27.5)	180 (44.2)	29 (35.8)	1 %
43	509 (47.8)	189 (39.8)	38 (37.3)	242 (59.5)	40 (49.4)	1 %
54	655 (61.5)	317 (66.7)	58 (59.9)	233 (57.2)	47 (58.0)	5 %
56	293 (27.5)	119 (25.1)	22 (21.6)	132 (32.4)	20 (24.7)	5 %
58	347 (32.6)	142 (29.9)	28 (27.5)	156 (38.3)	21 (25.9)	5 %
59	254 (23.8)	92 (19.4)	31 (30.4)	114 (28.0)	17 (21.0)	1 %
63	581 (54.6)	261 (54.9)	54 (52.9)	234 (57.5)	32 (39.5)	5 %
65	533 (50.0)	202 (42.5)	52 (51.0)	232 (57.0)	47 (58.0)	1 %
67	451 (42.3)	167 (35.2)	44 (43.1)	202 (49.6)	38 (46.9)	1 %
69	352 (33.1)	143 (30.1)	28 (27.5)	155 (38.1)	26 (32.1)	5 %
70	157 (14.7)	62 (13.1)	26 (25.5)	59 (14.5)	10 (12.3)	5 %
76	191 (17.9)	72 (15.2)	16 (15.7)	90 (22.1)	13 (16.0)	5 %
80	396 (37.2)	163 (34.3)	37 (36.3)	154 (37.8)	42 (51.9)	5 %
93	634 (59.5)	273 (57.5)	56 (54.9)	264 (64.9)	41 (50.6)	5 %

表4 二人っ子・三人っ子の出生位置別該当状況—①1992年調査—

単位：人(%)

項目番号	二 人 っ 子		三 人 っ 子			有意水準
	長 子	末 っ 子	長 子	中 間 子	末 っ 子	
	対象 308人	対象 314人	対象 115人	対象 89人	対象 87人	
10	175 (56.8)	204 (65.0)	70 (60.9)	56 (62.9)	58 (66.7)	5 %, なし
13	183 (59.4)	224 (71.3)	82 (71.3)	67 (75.3)	69 (79.3)	1 %, なし
18	158 (51.3)	193 (61.5)	70 (60.9)	56 (62.9)	52 (59.8)	5 %, なし
33	129 (41.9)	141 (44.9)	48 (41.7)	34 (38.2)	49 (56.3)	なし, 5 %
34	75 (24.4)	86 (27.4)	33 (28.7)	33 (37.1)	17 (19.5)	なし, 5 %
38	160 (51.9)	132 (42.0)	48 (41.7)	44 (49.4)	45 (51.7)	5 %, なし
43	128 (41.6)	166 (52.9)	43 (37.4)	40 (44.9)	52 (59.8)	1 %, 1 %
49	175 (56.8)	166 (52.9)	63 (54.8)	60 (67.4)	43 (49.4)	なし, 5 %
54	197 (64.0)	174 (55.4)	79 (68.7)	57 (64.0)	51 (58.6)	5 %, なし
79	52 (16.9)	46 (14.6)	28 (24.3)	14 (15.7)	7 ( 8.0)	なし, 1 %
80	121 (39.3)	93 (29.6)	34 (29.6)	34 (38.2)	28 (32.2)	5 %, なし
81	100 (32.5)	71 (22.6)	32 (27.8)	24 (27.0)	18 (20.7)	1 %, なし
82	140 (45.5)	116 (36.9)	43 (37.4)	37 (41.6)	42 (48.3)	5 %, なし

(注) 有意水準は、左側が二人っ子の検定結果、右側が三人っ子の検定結果を示す。

表5 二人っ子・三人っ子の出生位置別該当状況—②1993年調査— 単位：人(%)

項目番号	二人っ子		三人っ子			有意水準
	長子	末っ子	長子	中間子	末っ子	
	対象 349人	対象 302人	対象 111人	対象 87人	対象 89人	
4	204 (58.5)	201 (66.6)	56 (50.5)	54 (62.1)	53 (59.6)	5%, なし
9	39 (11.2)	38 (12.6)	18 (16.2)	5 ( 5.7)	3 ( 3.4)	なし, 1%
19	120 (34.4)	82 (27.2)	41 (36.9)	23 (26.4)	30 (33.7)	5%, なし
25	163 (46.7)	147 (48.7)	62 (55.9)	33 (37.9)	37 (41.6)	なし, 5%
31	196 (56.2)	194 (64.2)	65 (58.6)	49 (56.3)	54 (60.7)	5%, なし
32	223 (63.9)	194 (64.2)	64 (57.7)	57 (65.5)	42 (47.2)	なし, 5%
38	180 (51.6)	155 (51.3)	39 (35.1)	43 (49.4)	52 (58.4)	なし, 1%
42	158 (45.3)	133 (44.0)	55 (49.5)	24 (27.6)	39 (43.8)	なし, 1%
43	142 (40.7)	179 (59.3)	42 (37.8)	30 (34.5)	54 (60.7)	1%, 1%
45	99 (28.4)	82 (27.2)	38 (34.2)	17 (19.5)	20 (22.5)	なし, 5%
49	202 (57.9)	174 (57.6)	53 (47.7)	49 (56.3)	60 (67.4)	なし, 5%
54	230 (65.9)	168 (55.6)	77 (69.4)	49 (56.3)	56 (62.9)	1%, なし
56	86 (24.6)	98 (32.5)	30 (27.0)	21 (24.1)	27 (30.3)	5%, なし
58	98 (28.1)	118 (39.1)	38 (34.2)	25 (28.7)	33 (37.1)	1%, なし
59	70 (20.1)	76 (25.2)	18 (16.2)	29 (33.3)	33 (37.1)	なし, 1%
65	147 (42.1)	176 (58.3)	50 (45.0)	44 (50.6)	46 (51.7)	1%, なし
66	197 (56.4)	145 (48.0)	55 (49.5)	47 (54.0)	43 (48.3)	5%, なし
67	129 (37.0)	157 (52.0)	33 (29.7)	38 (43.7)	38 (42.7)	1%, なし
69	107 (30.7)	116 (38.4)	30 (27.0)	26 (29.9)	32 (36.0)	5%, なし
70	46 (13.2)	36 (11.9)	11 ( 9.9)	23 (26.4)	19 (21.3)	なし, 1%
72	64 (18.3)	84 (27.8)	23 (20.7)	21 (24.1)	23 (25.8)	1%, なし
73	157 (45.0)	151 (50.0)	41 (36.9)	45 (51.7)	51 (57.3)	なし, 5%
76	58 (16.6)	70 (23.2)	9 ( 8.1)	14 (16.1)	20 (22.5)	5%, 5%

(注) 有意水準は、左側が二人っ子の検定結果、右側が三人っ子の検定結果を示す。

## 2. きょうだい数別検討

第2の検討は、きょうだい数別分類によって実施した。きょうだいの人数による分類は、一人っ子、二人っ子、三人っ子、四人っ子、……と分けられる。本研究では、対象者数の関係で、次のように①一人っ子、②二人っ子、③三人っ子、④四人以上の4分類にとどめた。

- ① 一人っ子……子供は自分だけで、他にきょうだいがいない者。
- ② 二人っ子……きょうだい数が自分を含めて2人の者。
- ③ 三人っ子……きょうだい数が自分を含めて3人の者。
- ④ 四人以上……きょうだい数が自分を含めて4人以上の者。

表6・7は、きょうだい数によって、各項目の該当状況が異なるかどうかを調べてみたものである。1992年調査(表6)でも1993年調査(表7)でも、有意な差を示した項目はあるのであるが、2回の調査結果が一致したものは1項目もない。したがって、きょうだい数によって性格特徴に差異があるであろうという予想は実証されない。

表6 きょうだい数別項目別該当状況—①1992年調査— 単位：人(%)

項目番号	全 体	一人っ子	二人っ子	三人っ子	四人以上	有意水準
	対象 1051人	対象 90人	対象 622人	対象 291人	対象 48人	
1	435 (41.4)	30 (33.3)	249 (40.0)	142 (48.8)	14 (29.2)	1 %
13	721 (68.6)	60 (66.7)	407 (65.4)	218 (74.9)	36 (75.0)	5 %
39	701 (66.7)	68 (75.6)	394 (63.3)	209 (71.8)	30 (62.5)	5 %
50	505 (48.0)	54 (60.0)	290 (46.6)	144 (49.5)	17 (35.4)	5 %
89	370 (35.2)	29 (32.2)	201 (32.3)	118 (40.5)	22 (45.8)	5 %
91	215 (20.5)	12 (13.3)	119 (19.1)	69 (23.7)	15 (31.3)	5 %

表7 きょうだい数別項目別該当状況—②1993年調査— 単位：人(%)

項目番号	全 体	一人っ子	二人っ子	三人っ子	四人以上	有意水準
	対象 1065人	対象 81人	対象 651人	対象 287人	対象 46人	
3	772 (72.5)	61 (75.3)	493 (75.7)	185 (64.5)	33 (71.7)	1 %
18	603 (56.6)	36 (44.4)	363 (55.8)	176 (61.3)	28 (60.9)	5 %
35	429 (40.3)	29 (35.8)	280 (43.0)	109 (38.0)	11 (23.9)	5 %
36	438 (41.1)	27 (33.3)	259 (39.8)	137 (47.7)	15 (32.6)	5 %
41	252 (23.7)	18 (22.2)	175 (26.9)	52 (18.1)	7 (15.2)	5 %
53	520 (48.8)	40 (49.4)	298 (45.8)	153 (53.3)	29 (63.0)	5 %
63	581 (54.6)	32 (39.5)	371 (57.0)	147 (51.2)	31 (67.4)	1 %
70	157 (14.7)	10 (12.3)	82 (12.6)	53 (18.5)	12 (26.1)	5 %
75	415 (39.0)	26 (32.1)	261 (40.1)	102 (35.5)	26 (56.5)	5 %
80	396 (37.2)	42 (51.9)	242 (37.2)	95 (33.1)	17 (37.0)	5 %
85	167 (15.7)	18 (22.2)	104 (16.0)	33 (11.5)	12 (26.1)	5 %

### 3. 出生順位別検討

第3の検討は、出生順位別分類によって実施した。生まれたときの順位による分類は、第1子、第2子、第3子、第4子、……と分けられる。本研究では、対象者数の関係で、次のように①第1子、②第2子、③第3子以降の3分類にとどめた。

- ① 第1子……きょうだいの中で1番目に生まれた者。長子と一人っ子が該当する。
- ② 第2子……きょうだいの中で2番目に生まれた者。3人以上の2番目中間子と2人きょうだいの末っ子が該当する。
- ③ 第3子以降……きょうだいの中で3番目以降に生まれた者。3人きょうだいの末っ子、4人以上の3番目以降の者が該当する。

表8・9は、出生順位によって、各項目の該当状況が異なるかどうかを調べてみたものである。2回の調査で、ともに有意な差が認められたのは、2項目（項目番号32・54）にすぎない。これらも、両年の結果の間に、一貫した傾向が認められるとはいいがたい。したがって、出生順位によって性格類型に差異があるであろうという予想は実証されない。

表8 出生順位別項目別該当状況—①1992年調査— 単位：人(%)

項目番号	全 体	第 1 子	第 2 子	第 3 子以降	有意水準
	対象 1051人	対象 528人	対象 418人	対象 105人	
13	721 (68.6)	336 (63.6)	302 (72.2)	83 (79.0)	1 %
18	602 (57.3)	280 (53.0)	258 (61.7)	64 (61.0)	5 %
32	610 (58.0)	330 (62.5)	226 (54.1)	54 (51.4)	5 %
39	701 (66.7)	373 (70.6)	255 (61.0)	73 (69.5)	1 %
44	715 (68.0)	374 (70.8)	269 (64.4)	72 (68.6)	1 %
54	645 (61.4)	349 (66.1)	236 (56.5)	60 (57.1)	1 %
81	281 (26.7)	162 (30.7)	99 (23.7)	20 (19.0)	1 %
88	431 (41.0)	230 (43.6)	152 (36.4)	49 (46.7)	5 %

表9 出生順位別項目別該当状況—②1993年調査— 単位：人(%)

項目番号	全 体	第 1 子	第 2 子	第 3 子以降	有意水準
	対象 1065人	対象 556人	対象 398人	対象 111人	
4	639 (60.0)	314 (56.5)	262 (65.8)	63 (56.8)	5 %
32	656 (61.6)	342 (61.5)	257 (64.6)	57 (51.4)	5 %
41	252 (23.7)	125 (22.5)	110 (27.6)	17 (15.3)	5 %
43	509 (47.8)	229 (41.2)	213 (53.5)	67 (60.4)	1 %
54	655 (61.5)	364 (65.5)	222 (55.8)	69 (62.2)	1 %
65	533 (50.0)	249 (44.8)	226 (56.8)	58 (52.3)	1 %
67	451 (42.3)	205 (36.9)	199 (50.0)	47 (42.3)	1 %
72	247 (23.2)	111 (20.0)	108 (27.1)	28 (25.2)	5 %
73	508 (47.7)	246 (44.2)	199 (50.0)	63 (56.8)	5 %
76	191 (17.9)	85 (15.3)	86 (21.6)	20 (18.0)	5 %
91	178 (16.7)	87 (15.6)	63 (15.8)	28 (25.2)	5 %
92	551 (51.7)	289 (52.0)	193 (48.5)	69 (62.2)	5 %

#### 4. 性別構成別検討

第4の検討は、性別構成別分類によって実施した。性別構成による分類は男子のみ・男女混在・女子のみの3分類が基本になるが、本研究では、女子のみを対象にしているので、二人っ子的場合と三人っ子的場合に限定して、①(自分以外のきょうだいが)女1人、男1人(二人っ子的場合)、②(自分以外のきょうだいが)女2人、女1・男1人、男2人(三人っ子的場合)、③弟のいる姉、妹のいる姉、兄のいる妹、姉のいる妹(二人っ子的場合)に分けた。

表10・11は、きょうだいの性別構成によって、各項目の性格特徴が異なるかどうかを調べてみたものである。2回の調査結果で、二人っ子と三人っ子でともに有意な差が認められたものはなかったが、二人っ子のみでは1項目(項目番号52)で有意差がみられた。これは、両年の結果の間に、一貫した傾向が認められる。すなわち、女だけのきょうだいの者は、男のきょうだいがいる者よりも「神経質である」と自己評定しているといえる。しかし、厳密には、三人っ子的場合にこの傾向が顕著に現れていないことから、一貫性のある傾向とは認めがたい。



表10 二人っ子・三人っ子の性別構成別項目別該当状況—①1992年調査—単位：人(%)

項目番号	二人っ子		三人っ子			有意水準
	女 1 人	男 1 人	女 2 人	女 1 男 1 人	男 2 人	
	対象 290人	対象 332人	対象 73人	対象 143人	対象 75人	
5	182 (62.8)	210 (63.3)	56 (76.7)	80 (55.9)	45 (60.0)	なし, 5%
10	182 (62.8)	197 (59.3)	56 (76.7)	81 (56.6)	47 (62.7)	なし, 5%
12	130 (44.8)	159 (47.9)	36 (49.3)	75 (52.4)	51 (68.0)	なし, 5%
13	183 (63.1)	224 (67.5)	61 (83.6)	97 (67.8)	60 (80.0)	なし, 5%
14	185 (63.8)	224 (67.5)	56 (76.7)	86 (60.1)	53 (70.7)	なし, 5%
18	148 (51.0)	203 (61.1)	41 (56.2)	89 (62.2)	48 (64.0)	5%, なし
28	130 (44.8)	135 (40.7)	38 (52.1)	49 (34.3)	37 (49.3)	なし, 5%
52	142 (49.0)	134 (40.4)	32 (43.8)	56 (39.2)	32 (42.7)	5%, なし
53	136 (46.9)	145 (43.7)	49 (67.1)	67 (46.9)	34 (45.3)	なし, 1%
87	125 (43.1)	140 (42.2)	41 (56.2)	55 (38.5)	34 (45.3)	なし, 5%
91	45 (15.5)	74 (22.3)	20 (27.4)	29 (20.3)	20 (26.7)	5%, なし

(注1) 「女1人」「男1人」「女2人」「女1男1人」「男2人」とは、自分以外のきょうだいの性別及び人数を示す。

(注2) 有意水準は、左側が二人っ子の検定結果、右側が三人っ子の検定結果を示す。

表11 二人っ子・三人っ子の性別構成別項目別該当状況—②1993年調査—単位：人(%)

項目番号	二人っ子		三人っ子			有意水準
	女 1 人	男 1 人	女 2 人	女 1 男 1 人	男 2 人	
	対象 305人	対象 346人	対象 78人	対象 139人	対象 70人	
9	38 (12.5)	39 (11.3)	4 (5.1)	20 (14.4)	2 (2.9)	なし, 1%
45	86 (28.2)	95 (27.5)	17 (21.8)	46 (33.1)	12 (17.1)	なし, 5%
52	157 (51.5)	149 (43.1)	40 (51.3)	62 (44.6)	26 (37.1)	5%, なし
75	126 (41.3)	135 (39.0)	26 (33.3)	59 (42.4)	17 (24.3)	なし, 5%
78	89 (29.2)	89 (25.7)	28 (35.9)	36 (25.9)	12 (17.1)	なし, 5%
94	205 (67.2)	221 (63.9)	55 (70.5)	92 (66.2)	34 (48.6)	なし, 5%

(注1) 「女1人」「男1人」「女2人」「女1男1人」「男2人」とは、自分以外のきょうだいの性別及び人数を示す。

(注2) 有意水準は、左側が二人っ子の検定結果、右側が三人っ子の検定結果を示す。

さらに、二人っ子の場合について、弟のいる姉、妹のいる姉、兄のいる妹、姉のいる妹に分けて検討してみると、表12・13のような結果が得られた。2回の調査結果で、ともに有意な差が認められたのは2項目（項目番号43・72）である。2回の調査結果が一貫した傾向を示しているのは項目43である。ただしこれは、出生位置別検討で確認した「末っ子（妹）のほうが長子（姉）に比べて甘ったれである」ことを再確認したにすぎない。

#### IV ま と め

以上、きょうだい関係と性格の関連について、青年後期にあたる女子短大生を対象に自己評定調査を実施して、多面的に実証的な検討を試みた。この結果、きょうだいの出生位置・数・出生順位・性別構成の違いによる性格の差異は、ほとんど見いだされなかった。出生位置の違

表12 二人っ子の組み合わせ別項目別該当状況—①1992年調査— 単位：人(%)

項目番号	全 体	弟のいる姉	妹のいる姉	兄のいる妹	姉のいる妹	有意水準
	対象 622人	対象 157人	対象 151人	対象 175人	対象 139人	
10	379 (60.9)	94 (59.9)	81 (53.6)	103 (58.9)	101 (72.7)	1 %
13	407 (65.4)	104 (66.2)	79 (52.3)	120 (68.6)	104 (74.8)	1 %
18	351 (56.4)	84 (53.5)	74 (49.0)	119 (68.0)	74 (53.2)	1 %
20	189 (30.4)	45 (28.7)	39 (25.8)	49 (28.0)	56 (40.3)	5 %
43	294 (47.3)	60 (38.2)	68 (45.0)	90 (51.4)	76 (54.7)	5 %
56	161 (25.9)	38 (24.2)	34 (22.5)	40 (22.9)	49 (35.3)	5 %
60	287 (46.1)	80 (51.0)	54 (35.8)	81 (46.3)	72 (51.8)	5 %
72	115 (18.5)	32 (20.4)	28 (18.5)	21 (12.0)	34 (24.5)	5 %
75	202 (32.5)	55 (35.0)	54 (35.8)	42 (24.0)	51 (36.7)	5 %
81	171 (27.5)	52 (33.1)	48 (31.8)	37 (21.1)	34 (24.5)	5 %
89	201 (32.3)	56 (35.7)	54 (35.8)	40 (22.9)	51 (36.7)	5 %

表13 二人っ子の組み合わせ別項目別該当状況—②1993年調査— 単位：人(%)

項目番号	全 体	弟のいる姉	妹のいる姉	兄のいる妹	姉のいる妹	有意水準
	対象 651人	対象 181人	対象 168人	対象 165人	対象 137人	
43	321 (49.3)	81 (44.8)	61 (36.3)	99 (60.0)	80 (58.4)	1 %
58	216 (33.2)	43 (23.8)	55 (32.7)	66 (40.0)	52 (38.0)	1 %
65	323 (49.6)	70 (38.7)	77 (45.8)	93 (56.4)	83 (60.6)	1 %
67	286 (43.9)	67 (37.0)	62 (36.9)	85 (51.5)	72 (52.6)	1 %
72	148 (22.7)	34 (18.8)	30 (17.9)	46 (27.9)	38 (27.7)	5 %
93	401 (61.6)	110 (60.8)	93 (55.4)	99 (60.0)	99 (72.3)	5 %

いなどでは、統計的な有意差はかなりの項目で認められたのであるが、2回の調査結果の間には一貫性はほとんど認められない。したがって、偶然的な差異は認められたにしても、交差妥当性（普遍妥当性）は確認されなかったことになる。

ただし、このような結果が得られたからといって、ただちに青年後期でのきょうだい関係と性格との関連を全面的に否定するものではない。事実、ごく少数であっても、一部の項目で差異が確認されたことは、青年後期でも、きょうだい関係による差異が存在（影響が残存）するかもしれない、という可能性を残しているのである。

とはいえ、今回の研究の結論が、「矢田部ギルフォード性格検査」を用いて同様な方法で行なった第1報の結論と同じであることから、きょうだい関係（出生位置・出生順位など）の影響が成人になるまで残存しているという見解には、一応否定的な立場に立たざるをえない。

否定的な結論を出すことに慎重を期す面では、別の対象者に実施する交差妥当性確認の研究が必要であり、男子を含めて、多数の対象者についてデータを集め、性別・発達段階別などを加味した詳細な分析・検討も必要である。また、今後、他の方法による研究、別の角度からの研究の成果を待つ必要があるだろう。

既存の研究には、青年後期・成人期の者を対象にしたものが少ないことも、一般化に慎重を

要する点である。青年後期・成人期の者を対象に、性格検査や諸調査を実施するなど、多方面からのデータの蓄積を行なってからでないと、一般化や断定的な判断はできないであろう。仮に、幼少期の性格・行動傾向の形成に及ぼしたきょうだい関係の影響が、年長になるにつれて次第に低減していくとすれば、どの発達段階まで大きな影響を及ぼすのかについて、縦断的研究も必要である。

## 文 献

- 1) 白佐俊憲：きょうだい関係と性格—1. YG 性格検査による検討一，北海道女子短期大学研究紀要，29号，1～16，1993.
- 2) 天羽幸子：双生児とパーソナリティ形成，性格の形成と発達（詫摩武俊監修，パッケージ・性格の心理，第I巻，ブレーン出版）95～108，1985.
- 3) 岩井勇児：長子的性格・次子的性格への疑問—きょうだい間の回答の不一致からの検討一，日本教育心理学会第36回総会発表論文集，190，1994.
- 4) 内海美絵・鎌倉のぞみ・古賀正代：兄弟位置による性格の違いについて，札幌大谷短期大学保育研究，32集，235～245，1994.
- 5) 岡田敬蔵：双生児法による性格の発達史的研究，双生児の研究，第II集，（日本学術新興会）1956.
- 6) 末岡一伯：子どもの人格発達ときょうだい関係，子どもの発達と教育改革（西 勇・小田切 正編，北海道大学図書刊行会）100～129，1981.
- 7) 詫摩武俊：きょうだいと性格，国土社，1970.
- 8) 橋本みゆき・松本いづみ・蓑口佳枝：兄弟関係が性格形成に及ぼす影響—自分自身による評価と他人による評価との違い—，札幌大谷短期大学保育研究，32集，246～262，1994.
- 9) 畑田国男：姉妹型性格判断，パン・リサーチ・インスティテュート，1988.
- 10) 松井直美：出生順位が及ぼす性格の差異について，愛知教育大学平成3年度卒業研究，1992.
- 11) 村山良子：一人っ子の性格的特徴と環境との関係，東京家政大学昭和31年度卒業論文，1956.
- 12) 森下正康：大学生のパーソナリティときょうだい関係，日本教育心理学会第33回総会発表論文集，395～396，1991.
- 13) 山崎勝之：幼児の Type A 特性ときょうだい構成，大阪青山短期大学研究紀要，18号，105～121，1993.
- 14) 山田洋子・畑田国男：きょうだいの性格と育て方，主婦の友社，1993.
- 15) 依田 明：きょうだいと性格，性格の発達と形成（詫摩武俊監修，パッケージ・性格の心理，第I巻，ブレーン出版）133～145，1985.
- 16) 依田 明編：きょうだい順でわかる人柄の本，同文書院，1993.
- 17) 下山 啓・NHK ひるのプレゼント班：兄弟姉妹人間学，徳間書店，1986.

付表1 出生位置別項目別該当状況—①1992年調査—

単位：人(%)

項目番号	全 体	長 子	中 間 子	末 っ 子	一 人 っ 子	有意水準
	対象 1051人	対象 438人	対象 114人	対象 409人	対象 90人	
1	435 (41.4)	176 (40.2)	58 (50.9)	171 (41.8)	30 (33.3)	なし
2	606 (57.7)	256 (58.4)	62 (54.4)	234 (57.2)	54 (60.0)	なし
3	810 (77.1)	343 (78.3)	79 (69.3)	313 (76.5)	75 (83.3)	なし
4	633 (60.2)	250 (57.1)	63 (55.3)	263 (64.3)	57 (63.3)	なし
5	662 (63.0)	274 (62.6)	63 (55.3)	262 (64.1)	63 (70.0)	なし
6	164 (15.6)	73 (16.7)	19 (16.7)	60 (14.7)	12 (13.3)	なし
7	606 (57.7)	256 (58.4)	73 (64.0)	233 (57.0)	44 (48.9)	なし
8	504 (48.0)	207 (47.3)	61 (53.5)	197 (48.2)	39 (43.3)	なし
9	94 ( 8.9)	36 ( 8.2)	7 ( 6.1)	42 (10.3)	9 (10.0)	なし
10	648 (61.7)	257 (58.7)	70 (61.4)	268 (65.5)	53 (58.9)	なし
11	638 (60.7)	269 (61.4)	63 (55.3)	256 (62.6)	50 (55.6)	なし
12	518 (49.3)	220 (50.2)	61 (53.5)	193 (47.2)	44 (48.9)	なし
13	721 (68.6)	276 (63.0)	85 (74.6)	300 (73.3)	60 (66.7)	1 %
14	687 (65.4)	298 (68.0)	82 (71.9)	255 (62.3)	52 (57.8)	なし
15	383 (36.4)	157 (35.8)	42 (36.8)	144 (35.2)	40 (44.4)	なし
16	544 (51.8)	222 (50.7)	60 (52.6)	221 (54.0)	41 (45.6)	なし
17	275 (26.2)	115 (26.3)	32 (28.1)	100 (24.4)	28 (31.1)	なし
18	602 (57.3)	235 (53.7)	70 (61.4)	252 (61.6)	45 (50.0)	5 %
19	307 (29.2)	124 (28.3)	31 (27.2)	126 (30.8)	26 (28.9)	なし
20	328 (31.2)	124 (28.3)	33 (28.9)	140 (34.2)	31 (34.4)	なし
21	322 (30.6)	129 (29.5)	40 (35.1)	122 (29.8)	31 (34.4)	なし
22	280 (26.6)	111 (25.3)	37 (32.5)	108 (26.4)	24 (26.7)	なし
23	596 (56.7)	249 (56.8)	71 (62.3)	229 (56.0)	47 (52.2)	なし
24	325 (30.9)	151 (34.5)	32 (28.1)	116 (28.4)	26 (28.9)	なし
25	450 (42.8)	190 (43.4)	51 (44.7)	181 (44.3)	28 (31.1)	なし
26	689 (65.6)	283 (64.6)	73 (64.0)	270 (66.0)	63 (70.0)	なし
27	429 (40.8)	174 (39.7)	47 (41.2)	173 (42.3)	35 (38.9)	なし
28	448 (42.6)	180 (41.1)	49 (43.0)	181 (44.3)	38 (42.2)	なし
29	323 (30.7)	128 (29.2)	36 (31.6)	128 (31.3)	31 (34.4)	なし
30	316 (30.1)	124 (28.3)	39 (34.2)	123 (30.1)	30 (33.3)	なし
31	593 (56.4)	245 (55.9)	67 (58.8)	238 (58.2)	43 (47.8)	なし
32	610 (58.0)	271 (61.9)	59 (51.8)	221 (54.0)	59 (65.6)	5 %
33	449 (42.7)	185 (42.2)	44 (38.6)	192 (46.9)	28 (31.1)	5 %
34	280 (26.6)	112 (25.6)	39 (34.2)	106 (25.9)	23 (25.6)	なし
35	426 (40.5)	173 (39.5)	42 (36.8)	182 (44.5)	29 (32.2)	なし
36	399 (38.0)	166 (37.9)	43 (37.7)	159 (38.9)	31 (34.4)	なし
37	623 (59.3)	268 (61.2)	65 (57.0)	234 (57.2)	56 (62.2)	なし
38	496 (47.2)	215 (49.1)	54 (47.4)	179 (43.8)	48 (53.3)	なし
39	701 (66.7)	305 (69.6)	68 (59.6)	260 (63.6)	68 (75.6)	5 %
40	309 (29.4)	128 (29.2)	43 (37.7)	113 (27.6)	25 (27.8)	なし
41	263 (25.0)	99 (22.6)	33 (28.9)	105 (25.7)	26 (28.9)	なし
42	450 (42.8)	197 (45.0)	40 (35.1)	172 (42.1)	41 (45.6)	なし
43	500 (47.6)	174 (39.7)	51 (44.7)	223 (54.5)	52 (57.8)	1 %
44	715 (68.0)	315 (71.9)	72 (63.2)	269 (65.8)	59 (65.6)	なし
45	274 (26.1)	102 (23.3)	35 (30.7)	115 (28.1)	22 (24.4)	なし
46	544 (51.8)	231 (52.7)	55 (48.2)	205 (50.1)	53 (58.9)	なし
47	111 (10.6)	44 (10.0)	18 (15.8)	38 ( 9.3)	11 (12.2)	なし

項目番号	全 体	長 子	中 間 子	末 っ 子	一 人 っ 子	有 意 水 準
	対象 1051人	対象 438人	対象 114人	対象 409人	対象 90人	
48	554 (52.7)	229 (52.3)	63 (55.3)	216 (52.8)	46 (51.1)	なし
49	581 (55.3)	245 (55.9)	72 (63.2)	211 (51.6)	53 (58.9)	なし
50	505 (48.0)	202 (46.1)	53 (46.5)	196 (47.9)	54 (60.0)	なし
51	509 (48.4)	217 (49.5)	56 (49.1)	199 (48.7)	37 (41.1)	なし
52	445 (42.3)	190 (43.4)	42 (36.8)	178 (43.5)	35 (38.9)	なし
53	491 (46.7)	204 (46.6)	64 (56.1)	185 (45.2)	38 (42.2)	なし
54	645 (61.4)	289 (66.0)	65 (57.0)	231 (56.5)	60 (66.7)	5 %
55	693 (65.9)	280 (63.9)	79 (69.3)	276 (67.5)	58 (64.4)	なし
56	260 (24.7)	100 (22.8)	29 (25.4)	113 (27.6)	18 (20.0)	なし
57	253 (24.1)	109 (24.9)	30 (26.3)	98 (24.0)	16 (17.8)	なし
58	310 (29.5)	124 (28.3)	36 (31.6)	126 (30.8)	24 (26.7)	なし
59	279 (26.5)	111 (25.3)	37 (32.5)	106 (25.9)	25 (27.8)	なし
60	497 (47.3)	203 (46.3)	55 (48.2)	199 (48.7)	40 (44.4)	なし
61	284 (27.0)	119 (27.2)	29 (25.4)	116 (28.4)	20 (22.2)	なし
62	729 (69.4)	306 (69.9)	81 (71.1)	276 (67.5)	66 (73.3)	なし
63	553 (52.6)	236 (53.9)	64 (56.1)	208 (50.9)	45 (50.0)	なし
64	161 (15.3)	62 (14.2)	14 (12.3)	74 (18.1)	11 (12.2)	なし
65	501 (47.7)	203 (46.3)	56 (49.1)	203 (49.6)	39 (43.3)	なし
66	530 (50.4)	226 (51.6)	56 (49.1)	207 (50.6)	41 (45.6)	なし
67	402 (38.2)	161 (36.8)	41 (36.0)	162 (39.6)	38 (42.2)	なし
68	608 (57.8)	249 (56.8)	59 (51.8)	250 (61.1)	50 (55.6)	なし
69	322 (30.6)	135 (30.8)	36 (31.6)	117 (28.6)	34 (37.8)	なし
70	158 (15.0)	60 (13.7)	21 (18.4)	64 (15.6)	13 (14.4)	なし
71	80 ( 7.6)	39 ( 8.9)	9 ( 7.9)	24 ( 5.9)	8 ( 8.9)	なし
72	211 (20.1)	86 (19.6)	23 (20.2)	78 (19.1)	24 (26.7)	なし
73	485 (46.1)	198 (45.2)	55 (48.2)	193 (47.2)	39 (43.3)	なし
74	511 (48.6)	210 (47.9)	58 (50.9)	200 (48.9)	43 (47.8)	なし
75	343 (32.6)	150 (34.2)	40 (35.1)	125 (30.6)	28 (31.1)	なし
76	183 (17.4)	75 (17.1)	23 (20.2)	69 (16.9)	16 (17.8)	なし
77	382 (36.3)	161 (36.8)	38 (33.3)	156 (38.1)	27 (30.0)	なし
78	293 (27.9)	131 (29.9)	28 (24.6)	103 (25.2)	31 (34.4)	なし
79	166 (15.8)	83 (18.9)	18 (15.8)	54 (13.2)	11 (12.2)	なし
80	359 (34.2)	159 (36.3)	43 (37.7)	122 (29.8)	35 (38.9)	なし
81	281 (26.7)	136 (31.1)	30 (26.3)	89 (21.8)	26 (28.9)	5 %
82	429 (40.8)	192 (43.8)	45 (39.5)	160 (39.1)	32 (35.6)	なし
83	111 (10.6)	56 (12.8)	14 (12.3)	38 ( 9.3)	3 ( 3.3)	5 %
84	180 (17.1)	79 (18.0)	25 (21.9)	63 (15.4)	13 (14.4)	なし
85	144 (13.7)	58 (13.2)	17 (14.9)	58 (14.2)	11 (12.2)	なし
86	240 (22.8)	95 (21.7)	31 (27.2)	93 (22.7)	21 (23.3)	なし
87	441 (42.0)	196 (44.7)	50 (43.9)	163 (39.9)	32 (35.6)	なし
88	431 (41.0)	189 (43.2)	44 (38.6)	157 (38.4)	41 (45.6)	なし
89	370 (35.2)	166 (37.9)	51 (44.7)	124 (30.3)	29 (32.2)	5 %
90	179 (17.0)	78 (17.8)	23 (20.2)	60 (14.7)	18 (20.0)	なし
91	215 (20.5)	96 (21.9)	30 (26.3)	77 (18.8)	12 (13.3)	なし
92	565 (53.8)	238 (54.3)	55 (48.2)	218 (53.3)	54 (60.0)	なし
93	622 (59.2)	251 (57.3)	66 (57.9)	255 (62.3)	50 (55.6)	なし
94	635 (60.4)	270 (61.6)	64 (56.1)	243 (59.4)	58 (64.4)	なし

付表2 出生位置別項目別該当状況—②1993年調査—

単位：人(%)

項目番号	全 体	長 子	中 間 子	末 っ 子	一 人 っ 子	有 意 水 準
	対象 1065人	対象 475人	対象 102人	対象 407人	対象 81人	
1	538 (50.5)	241 (50.7)	55 (53.9)	199 (48.9)	43 (53.1)	なし
2	688 (64.6)	318 (66.9)	62 (60.8)	259 (63.6)	49 (60.5)	なし
3	772 (72.5)	336 (70.7)	70 (68.6)	305 (74.9)	61 (75.3)	なし
4	639 (60.0)	269 (56.6)	63 (61.8)	262 (64.4)	45 (55.6)	なし
5	651 (61.1)	286 (60.2)	63 (61.8)	253 (62.2)	49 (60.5)	なし
6	204 (19.2)	91 (19.2)	16 (15.7)	85 (20.9)	12 (14.8)	なし
7	624 (58.6)	276 (58.1)	59 (57.8)	248 (60.9)	41 (50.6)	なし
8	546 (51.3)	236 (49.7)	62 (60.8)	209 (51.4)	39 (48.1)	なし
9	118 (11.1)	57 (12.0)	6 ( 5.9)	43 (10.6)	12 (14.8)	なし
10	690 (64.8)	312 (65.7)	68 (66.7)	263 (64.6)	47 (58.0)	なし
11	688 (64.6)	318 (66.9)	54 (52.9)	265 (65.1)	51 (63.0)	なし
12	554 (52.0)	260 (54.7)	52 (51.0)	208 (51.1)	34 (42.0)	なし
13	732 (68.7)	320 (67.4)	72 (70.6)	294 (72.2)	46 (56.8)	5 %
14	726 (68.2)	338 (71.2)	70 (68.6)	267 (65.6)	51 (63.0)	なし
15	423 (39.7)	188 (39.6)	42 (41.2)	159 (39.1)	34 (42.0)	なし
16	579 (54.4)	252 (53.1)	63 (61.8)	222 (54.5)	42 (51.9)	なし
17	286 (26.9)	124 (26.1)	30 (29.4)	109 (26.8)	23 (28.4)	なし
18	603 (56.6)	267 (56.2)	65 (63.7)	235 (57.7)	36 (44.4)	なし
19	332 (31.2)	165 (34.7)	28 (27.5)	119 (29.2)	20 (24.7)	なし
20	370 (34.7)	172 (36.2)	27 (26.5)	150 (36.9)	21 (25.9)	なし
21	308 (28.9)	141 (29.7)	33 (32.4)	114 (28.0)	20 (24.7)	なし
22	290 (27.2)	139 (29.3)	25 (24.5)	110 (27.0)	16 (19.8)	なし
23	566 (53.1)	242 (50.9)	54 (52.9)	229 (56.3)	41 (50.6)	なし
24	360 (33.8)	153 (32.2)	36 (35.3)	140 (34.4)	31 (38.3)	なし
25	502 (47.1)	232 (48.8)	41 (40.2)	194 (47.7)	35 (43.2)	なし
26	707 (66.4)	327 (68.8)	67 (65.7)	268 (65.8)	45 (55.6)	なし
27	457 (42.9)	206 (43.4)	42 (41.2)	177 (43.5)	32 (39.5)	なし
28	486 (45.6)	219 (46.1)	52 (51.0)	179 (44.0)	36 (44.4)	なし
29	368 (34.6)	155 (32.6)	38 (37.3)	141 (34.6)	34 (42.0)	なし
30	338 (31.7)	165 (34.7)	27 (26.5)	125 (30.7)	21 (25.9)	なし
31	624 (58.6)	268 (56.4)	57 (55.9)	257 (63.1)	42 (51.9)	なし
32	656 (61.6)	296 (62.3)	67 (65.7)	247 (60.7)	46 (56.8)	なし
33	441 (41.4)	212 (44.6)	38 (37.3)	159 (39.1)	32 (39.5)	なし
34	351 (33.0)	154 (32.4)	29 (28.4)	140 (34.4)	28 (34.6)	なし
35	429 (40.3)	200 (42.1)	33 (32.4)	167 (41.0)	29 (35.8)	なし
36	438 (41.1)	207 (43.6)	40 (39.2)	164 (40.3)	27 (33.3)	なし
37	651 (61.1)	286 (60.2)	64 (62.7)	244 (60.0)	57 (70.4)	なし
38	530 (49.8)	225 (47.4)	54 (52.9)	214 (52.6)	37 (45.7)	なし
39	734 (68.9)	329 (69.3)	69 (67.6)	274 (67.3)	62 (76.5)	なし
40	334 (31.4)	146 (30.7)	30 (29.4)	133 (32.7)	25 (30.9)	なし
41	252 (23.7)	107 (22.5)	24 (23.5)	103 (25.3)	18 (22.2)	なし
42	454 (42.6)	217 (45.7)	28 (27.5)	180 (44.2)	29 (35.8)	1 %
43	509 (47.8)	189 (39.8)	38 (37.3)	242 (59.5)	40 (49.4)	1 %
44	739 (69.4)	345 (72.6)	72 (70.6)	270 (66.3)	52 (64.2)	なし
45	283 (26.6)	141 (29.7)	19 (18.6)	105 (25.8)	18 (22.2)	なし
46	528 (49.6)	220 (46.3)	53 (52.0)	207 (50.9)	48 (59.3)	なし
47	160 (15.0)	75 (15.8)	20 (19.6)	57 (14.0)	8 ( 9.9)	なし

項目番号	全 体	長 子	中 間 子	末 っ 子	一 人 っ 子	有 意 水 準
	対象 1065人	対象 475人	対象 102人	対象 407人	対象 81人	
48	536 (50.3)	237 (49.9)	52 (51.0)	203 (49.9)	44 (54.3)	なし
49	617 (57.9)	265 (55.8)	60 (58.8)	241 (59.2)	51 (63.0)	なし
50	515 (48.4)	220 (46.3)	50 (49.0)	202 (49.6)	43 (53.1)	なし
51	511 (48.0)	222 (46.7)	47 (46.1)	205 (50.4)	37 (45.7)	なし
52	504 (47.3)	221 (46.5)	44 (43.1)	191 (46.9)	48 (59.3)	なし
53	520 (48.8)	229 (48.2)	58 (56.9)	193 (47.4)	40 (49.4)	なし
54	655 (61.5)	317 (66.7)	58 (56.9)	233 (57.2)	47 (58.0)	5 %
55	707 (66.4)	314 (66.1)	62 (60.8)	277 (68.1)	54 (66.7)	なし
56	293 (27.5)	119 (25.1)	22 (21.6)	132 (32.4)	20 (24.7)	5 %
57	292 (27.4)	132 (27.8)	26 (25.5)	117 (28.7)	17 (21.0)	なし
58	347 (32.6)	142 (29.9)	28 (27.5)	156 (38.3)	21 (25.9)	5 %
59	254 (23.8)	92 (19.4)	31 (30.4)	114 (28.0)	17 (21.0)	1 %
60	468 (43.9)	203 (42.7)	51 (50.0)	182 (44.7)	32 (39.5)	なし
61	312 (29.3)	147 (30.9)	26 (25.5)	111 (27.3)	28 (34.6)	なし
62	741 (69.6)	328 (69.1)	65 (63.7)	287 (70.5)	61 (75.3)	なし
63	581 (54.6)	261 (54.9)	54 (52.9)	234 (57.5)	32 (39.5)	5 %
64	196 (18.4)	91 (19.2)	15 (14.7)	79 (19.4)	11 (13.6)	なし
65	533 (50.0)	202 (42.5)	52 (51.0)	232 (57.0)	47 (58.0)	1 %
66	544 (51.1)	259 (54.5)	53 (52.0)	196 (48.2)	36 (44.4)	なし
67	451 (42.3)	167 (35.2)	44 (43.1)	202 (49.6)	38 (46.9)	1 %
68	603 (56.6)	283 (59.6)	53 (52.0)	228 (56.0)	39 (48.1)	なし
69	352 (33.1)	143 (30.1)	28 (27.5)	155 (38.1)	26 (32.1)	5 %
70	157 (14.7)	62 (13.1)	26 (25.5)	59 (14.5)	10 (12.3)	5 %
71	84 ( 7.9)	42 ( 8.8)	6 ( 5.9)	31 ( 7.6)	5 ( 6.2)	なし
72	247 (23.2)	93 (19.6)	25 (24.5)	111 (27.3)	18 (22.2)	なし
73	508 (47.7)	208 (43.8)	53 (52.0)	209 (51.4)	38 (46.9)	なし
74	561 (52.7)	234 (49.3)	56 (54.9)	226 (55.5)	45 (55.6)	なし
75	415 (39.0)	187 (39.4)	37 (36.3)	165 (40.5)	26 (32.1)	なし
76	191 (17.9)	72 (15.2)	16 (15.7)	90 (22.1)	13 (16.0)	5 %
77	428 (40.2)	173 (36.4)	42 (41.2)	178 (43.7)	35 (43.2)	なし
78	288 (27.0)	128 (26.9)	31 (30.4)	109 (26.8)	20 (24.7)	なし
79	165 (15.5)	89 (18.7)	14 (13.7)	51 (12.5)	11 (13.6)	なし
80	396 (37.2)	163 (34.3)	37 (36.3)	154 (37.8)	42 (51.9)	5 %
81	295 (27.7)	143 (30.1)	28 (27.5)	104 (25.6)	20 (24.7)	なし
82	469 (44.0)	205 (43.2)	48 (47.1)	175 (43.0)	41 (50.6)	なし
83	128 (12.0)	49 (10.3)	15 (14.7)	58 (14.3)	6 ( 7.4)	なし
84	216 (20.3)	91 (19.2)	18 (17.6)	89 (21.9)	18 (22.2)	なし
85	167 (15.7)	64 (13.5)	13 (12.7)	72 (17.7)	18 (22.2)	なし
86	289 (27.1)	131 (27.6)	27 (26.5)	109 (26.8)	22 (27.2)	なし
87	429 (40.3)	181 (38.1)	44 (43.1)	174 (42.8)	30 (37.0)	なし
88	427 (40.1)	195 (41.1)	36 (35.3)	164 (40.3)	32 (39.5)	なし
89	300 (28.2)	134 (28.2)	31 (30.4)	116 (28.5)	19 (23.5)	なし
90	229 (21.5)	95 (20.0)	26 (25.5)	86 (21.1)	22 (27.2)	なし
91	178 (16.7)	76 (16.0)	13 (12.7)	78 (19.2)	11 (13.6)	なし
92	551 (51.7)	245 (51.6)	51 (50.0)	211 (51.8)	44 (54.3)	なし
93	634 (59.5)	273 (57.5)	56 (54.9)	264 (64.9)	41 (50.6)	5 %
94	687 (64.5)	304 (64.0)	67 (65.7)	264 (64.9)	52 (64.2)	なし